



学校だより

めざす学校像<安心して過ごせる学校>『今日が楽しく、明日が待たれる学校』

鈴鹿市立加佐登小学校

電話 059-378-0063

FAX 共用 059-378-0006

校長 山中 喜宏

<https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/>

# 加小っ子だより

令和5年7月20日 No.10

新しい学級となり、期待とともに不安も感じながらスタートした4月から、あっという間に3カ月半が過ぎました。

子どもたちは互いに理解できるようになってきていますので、2学期には子ども同士のつながりを一層強めていけるようにしていきたいと考えています。

6年生にお世話をしてもらいながら小学校生活をスタートした1年生も、今は自分のことは自分でできるようになりました。6年生はふれあい班活動や登下校等の際に、下級生一人一人のことを考えながら、その子に応じた接し方をしてくれています。学習面でも、それ以外の面でも、子どもたちはそれぞれに着実に成長しています。1学期間の保護者のみなさまのご協力、ありがとうございました。



## 第2回 ふれあい班活動をおこないました

7月4日（火）業間の時間にふれあい班活動を行いました。この日は、6年生がリーダーとして班の下級生をまとめ、一緒に遊ぶこととなっていました。とても暑い中でしたが、みんなが楽しく活動することができました。終了前には、各班で集合し、今日の活動のまとめを行いました。まとめの時間も、6年生がリーダーシップをとって、活動を振り返って各自で感想を言い合っていました。

次回も各班が自分たちで創意工夫して高学年がリーダーシップを取り、低中学年の子たちを気遣いながら遊びを通して交流を深められるといいですね。



## 児童集会で委員会紹介がありました

7月5日(水)に児童集会を行いました。各委員会から活動報告や学校生活で知らせたいことや呼びかけたいことを、イラストや実物を提示したり、寸劇も交えたりするなどの工夫を凝らして全校児童に紹介しました。

どの発表も、みんながお互いを思いやり、気持ちよく学校生活を送ることができるように取り組んでくれていることがよくわかりました。

加佐登小学校のみんなが気持ちよく学校生活を送ることができるようになるために、各委員会の発表の中で言われたことについて、一人ひとりが覚えて行動できるようになっていきましょう。



## 溺れそうになったとき、自分の命を守るには？

7月10日(月)、鈴鹿市中央消防署から講師をお招きして、6年生で着衣泳の授業を行いました。着衣泳とは、衣服・靴を身に着けたまま浮いて救助を待つ「救助される側」のスキルです。

授業では、「ヒトの身体は、空気を吸い込んだ状態では98%が水中に沈んで2%が水面上に出ること。そのため、息を吐けば、身体全体が水中に沈んでしまうこと。しかしながら、水面上に出る2%の部分をも口・鼻部にもってこることができれば呼吸が確保できることを教えていただきました。

また、着衣泳の際に意識する5点を教えてもらいました。

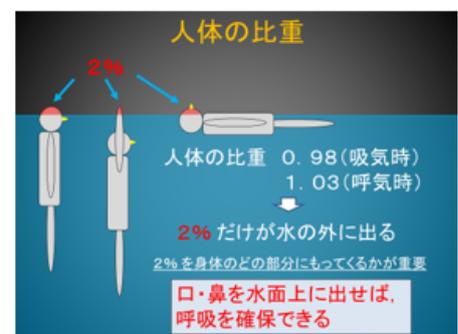
その後、着衣の状態でも衣服や靴の浮力を利用して浮く練習を講師の先生方にアドバイスをいただきながら行いました。みんな真剣な表情で自分の命を自分で守るために浮く訓練を行っていました。

ちなみに、意識する5点は次の通りです。

- ① 浮いて待つ
- ② 水の中に助けに入らない
- ③ 浮くものを投げ入れる
- ④ 早い119番通報
- ⑤ 大人を呼ぶ

以上の行動ができるように意識していきましょう。

### ～没水のメカニズム～



ヒトの身体は比重の関係から、空気を吸い込んだ状態では98%が水中に沈んで2%が水面上に出ます。

息を吐けば、身体全体が水中に沈んでしまいます。つまり、吸気時の比重2%（水面上に出る部分）をも口・鼻部にもってこれば呼吸が確保できます。






# ういてまで

~命を守る**着衣泳**~



<着衣泳とは>  
くつをはいたまま、服を着たまま  
水にプカプカ浮いて救助を待つ方  
法です。自分の“いのち”を助け  
る「**助かる救助法**」です。

<もっと簡単に浮けるよ!>



## 大切なポイント

溺れている人を見かけたら、助けようとして飛び込まない!!

**119番通報し大声で助けを呼び**ましょう。



## 7月『加佐登小 人権の日』「ぽかぽか言葉って？」



安心して過ごせる学校『今日が楽しく、明日が待たれる学校』を目指して、毎月10日を「人権の日」として、「お互いを尊重し、なかまも自分も大切にする」日とし取り組んでいます。

7月は「ぽかぽか言葉って？」と題して、「友だちに言われてうれしかった言葉」や「友だちに言われて元気が出た言葉」「ハッピーな気持ちになる言葉」「心が温かくなるような言葉」を書いてもらい、貼っていきます。書いたり、貼ったりすることで言葉をかけてくれた友だちなどに感謝の気持ちを表すとともに、「お互いを大切に思っているよ」と意識していけるように取組を行いました。ぽかぽか言葉であふれ、みんなが「友だちも自分も大切にできる」加佐登小学校にしていきましょう。

### “ありがとう”って伝えたくて

いきものがかりの楽曲に「ありがとう」という曲があります。『“ありがとう”って伝えたくて…』と続く歌ですが、みなさんは「ありがとう」に込められた意味を意識したことはあるでしょうか？

「ありがとう」を漢字で書くと「有難い」となります。これは、あることが難しい、つまり「めったにない」ということを表します。ですから「ありがとう」には「私に、めったにないような、あり得ない優しいことをしてくれて、うれしいです。感謝しています。」という意味が込められています。

「ありがとう」に対して「どういたしまして」と答えるのは「どうしてそんなことを言うのですか。たいしたことではありませんよ」という気持ちを伝えています。

さて、「ありがとう」にかぎらず「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」「さようなら」といったあいさつや言葉がけは、お互いの心と心を開いて優しい気持ちを伝えあうことができる素敵な言葉です。

加佐登小学校のみんながちょっとした勇気を出して、進んであいさつや言葉がけができるようになってほしいと思います。

夏休みに入りますが、お家でも、近所の方々に対しても、ちょっとした勇気を出して進んであいさつや「ありがとう」の言葉がけができるといいですね。

著作権等の関係で、掲載することができません。  
ご了承ください。